



寄り添う心  
つながる手

心がいっぱい  
朝日町ボランティア  
マスコット  
ハートフルちゃん

ふれあいネットワーク

# ハートフル通信

オール朝日町で支える 安心生活のまちづくり(町社協の基本理念)

令和4年1月1日

## 第24号

編集・発行  
朝日町社会福祉協議会  
富山県下新川郡朝日町泊418  
tel.0765-83-0576  
fax.0765-83-1589  
http://asahiwel.com

皆さんは、「寄付」という言葉にどのようなイメージをお持ちですか。寄付においてまず思い浮かべるのが「お金」の寄付ではないでしょうか。国内外で発生する災害の義援金や赤い羽根共同募金もこの「お金」の寄付にあたります。

元々、寄付とは金品を公共事業や福祉・寺社などへ無償で提供することを言いますが、反対にお金を募る(集める)ことを「募金」とも言います。寄付というと、あまり身近に感じないと思われる方もおられると思いますが、例えば、お店の店頭にある募金箱や街頭募金などでお金を入れるなど、暮らしの中で自然に“寄付ができる場面”に出会うこともあるのではないのでしょうか。

では、この寄付されたお金はどのように使われるのでしょうか。様々な問題・課題が多く存在する現代社会において、行政だけでは対応できないことが多くあります。そのような課題を解決するために、善意のお金を募り、そのお金を財源として事業を行う法人や団体も数多くあり、朝日町社会福祉協議会(以下、朝日町社協)もそのような法人の一つです。今号のハートフル通信では、朝日町社協で受け付けました寄付について特集し、寄付者の想いや、食品の寄付などについてご紹介します。

「誰かの力になりたい」「誰かの役に立ちたい」というあたたかな想いをともに、**寄付という社会貢献**をしてみませんか。



## それぞれの想いを託す “寄付” というカタチ



### 食を託す



現在、コロナ禍において収入が減少したり、失業されたりして先行きが見えない不安を抱えている方が増えています。なかでも、「今日、食べるものがない」という切実な暮らしを余儀なくされている方もおられます。

朝日町社協においては、そのような方の生活相談の対応を行うなかで、「食の支援」の必要性をひしひしと感じていました。

時を同じくして、企業のSDGsの推進や食品ロスの削減のために「フードドライブ(食品の寄付)」が注目を浴びてきており、企業や団体、個人の方からの食品の寄付が少しずつ増えてきていました。

フードドライブとは、ご家庭や職場で余っている食品を必要とする方へ提供することを言います。朝日町社協では“寄付された食品”を“困窮している方”へつなぐ橋渡し役として、食品の寄付を受け付ける「フードバンク事業」も始めることとなりました。

「もったいない」と思う当たり前の気持ちが、誰かの暮らしを支えることにつながる喜びを生み出す「食品の寄付」は今後も増えていくのではないかと思います。

皆さまも、余っている食品がありましたら提供してみませんか。それが、「食を託す」という寄付につながります。

### フードドライブ活動のご紹介



朝日町食生活改善推進連絡協議会様



小川温泉元湯ホテルおがわ様

朝日町社協で受け付けている寄付金については、寄付者の様々な想いが入っています。家族が生前お世話になったお礼や人生の節目、地域のイベントの売上金の一部など、寄付に託す想いは様々です。

この寄付金は、朝日町社協が地区社会福祉協議会と協力して実施しているケアネット活動やボランティア活動への支援、福祉の総合相談事業などに活用されています。

この寄付金については、時代の流れによる価値観の変化や寄付意識の変容などに伴い、寄付金額は減少傾向となっています。

寄付金が減少している一方で、人口減少や高齢化、単身家族の増加など地域環境が変化しているため、顕在化してくる生活困窮やひきこもりなどの複雑な問題も増えてきており、その相談対応が朝日町社協にはより求められています。

悩みを抱えた本人との相談を丁寧に重ね、一緒にこの悩みや不安を相談者と共に解決していく朝日町社協の活動を応援するために「お金を託す」という方法も寄付の一つであり、ボランティア活動でもあります。

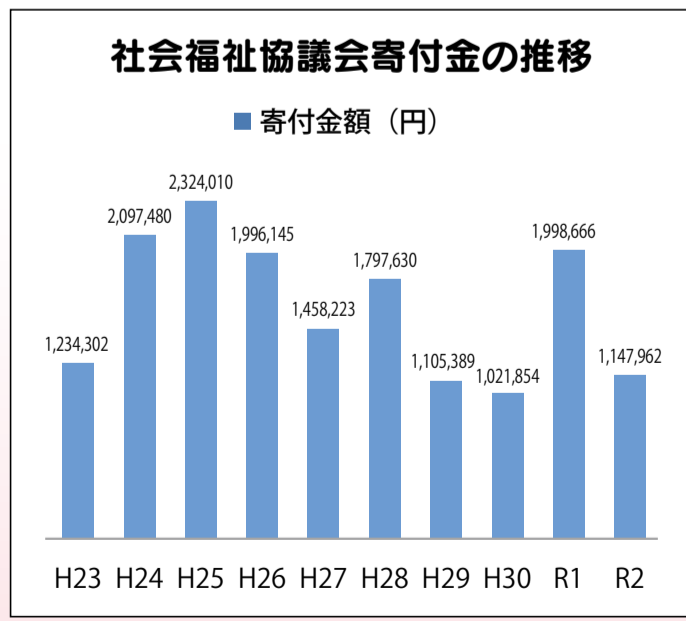


### お金を託す

### 寄付者の声

ボランティア活動でいただいた交通費などを寄付しています。寄付することにより、ボランティア活動をバックアップしてもらえから良い循環だね。

自営のお店に常時、募金箱を設置しているので、そのお金を朝日町社協へ定期的に寄付しています。少しでも、この町の福祉のために使ってもらえたらと思うとよ!



※教育振興基金への寄付金は除きます

朝日町社協では、皆さまからのご寄付を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

▶裏面は「それぞれの想いを託す “寄付” というカタチ」の続きです。

この広報紙は共同募金の助成金により発行しています。



